

安保法廃止各地で訴え

野党共闘支持呼びかけ

2016 参院選

安全保障関連法の廃止を訴える市民団体が5日、東京の国会前や大阪・梅田など各地で一斉に抗議行動をとった。22日に公示され、結果次第で改憲も現実味を帯びる参院選に向け、安保法反対を掲げて1人区で「統一候補」を立てる野党への支持を呼びかけた。

国会前では、1人区全32選挙区で民進や共産など野党4党や市民団体により候補者が一本化されたことを踏まえ、学生団体「SEA、LDS」の奥田愛基さん(26)が「選挙結果によっては憲法が変わってしまうかもしれない。1人区でそんな

なに勝てるかわからないけど、ひっくり返そう」と訴えた。主催者によると約4万人が集まったという。大阪・梅田でも、市民団体がつくる「おおさか総がかり行動実行委員会」が抗議行動をした。参院選に向けて「市民の力で政治を変えよう」と訴えた。主催者によると、約千人が参加。参院選の民進、共産の立候補予定者や社民、生活の元衆院議員らが「野党は共闘のかけ声に合わせ、手を握ってアピルした。」

「安保関連法に反対するママの会@大阪」の西沢加奈子さん(27)は生後7カ月の長男を抱きながら、車の上立ち、「『政治に期待できない』『何も変わらない』は終わった。みなさん、選挙に行ってください」と訴えた。

ツイッターで知り、聞きに来た大阪府内の建設業の男性(33)は取材に「『自民あかん』の受け皿ができて、政治が変わると期待している。ただ、もっと具体的なことを言ってもらいたい」と話した。

デジタル版に動画

市民連合、活動後押し

野党の立候補予定者たちが手を握って演説するデモは、従来の支持団体だけではなく、昨年から「安保法反対」を掲げて街頭行動を繰り返してきた学生や子育て中

の母親らが後押しする。こうした新たに政治活動を始めた人らは参院選に向けて連携を深め、各地で「市民連合」を結成してきた。

関西では3月、「SEA

LDS KANSAI」や兵庫の「ママの会」などのメンバーが「関西市民連合」を設立。参院選で野党統一候補を支援するとし、連帯を呼びかける。重視するのは投票率アップ。4月の衆院北海道5区補選の報道機関の出口調査で、無党派の7割が野党統一候補に投票したとされ、無党派層の投票が野党票の上積みにつながることを示した。

関西市民連合の塩田潤さ

ん(29)は神戸大大学院は「何を基準に投票すればいいかわからない人のため、安保や経済など各分野でわかりやすい争点を提示したい」と言う。

市民連合は、野党統一候補誕生に関わってきた。「市民一人ひとりが選挙に参加するよう呼びかけた」。3月に約20の団体などで結成された石川県の「いしかわ市民連合」共同代表の河合隆平・金沢大准



①国会前で安保法廃止などを訴える人たち。5日、東京・永田町、川村直子撮影
②大阪の繁華街にも多くの人が集まり、廃止を求めた。5日、大阪市北区、豊簡根功智撮影

下げ、共産新顔が事実上の統一候補となった香川選挙区(改選数1)では、「市民連合@かがわ」が5月、立候補予定者と「安保法廃止」など3点を選挙公約とする覚書を交わした。

ただし、民進は「支援方は白紙」と積極的な態度を見せない。市民連合@かがわの近藤浩二代表は「このままではまずい」との思いもある。私たちが民進

党に働きかけていく」と語る。自民、民進両現職と共産新顔らが争う改選数2の京都選挙区では、民進、共産の立候補予定者がともに安保法反対を明言。5月半ばにできた「市民連合@京都」も支援者を絞っていない。メンバーの伊藤恵子さん(52)は「この候補をどう応援するか、イメージできていない」。